

地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 INQUA 小委員会
(第 26 期・第 3 回) 議事要旨

- 1 日 時 2025 年 8 月 22 日(金) 13:00～14:00
- 2 方 法 オンライン会議 (Zoom: 島根大学)
- 3 出席者 小口 高、奥村 晃史、片岡 香子、久保 純子、久保田 好美、齋藤 文紀、
佐藤 宏之、長谷部 徳子、岡田 誠、北里 洋、春山 成子、横山 祐典、
鈴木 毅彦

欠席者 阿部 彩子、川幡 穂高、諏訪 元、吾妻 崇、出穂 雅実

4 議題等

- (1) INQUA 2027 大会に向けた取り組み
代表派遣候補者の決定(2025. 12 末締切)
Sir Nicholas Shackleton Medal への推薦 (2025. 10. 1 締切)
終身名誉会員の推薦 (大会の半年前が締切)
- (2) ASQUA 日本開催に向けた検討
- (3) INQUA の動向情報共有
- (4) その他

4. 配布資料

資料 1 : INQUA2027 関連資料

(1) INQUA 2027 大会に向けた取り組み

次回の INQUA 大会は 2027 年 1 月 28 日～2 月 3 日にインドのラクノウで開催される。来年度の開催となるため、代表派遣の候補となる日本代表・副代表の選出を行った。INQUA 大会に向けて公募が行われている INQUA の顕彰やプロジェクトについては、国内での募集の周知を行い、終身名誉会員については推薦に向けて準備を行うことになった。

(2) ASQUA 日本開催に向けた検討

2007 年に日本で開催した第四紀の国際集会において提案されたアジアにおける第四紀研究の国際集会 ASQUA の次回日本開催が要請されている。INQUA の中間年での開催となることから、次回の第 4 回 ASQUA 大会は 2029 年の見込みである。日本においては、

1997 年に開催した第四紀の国際集会以来、約 10 年に 1 回、第四紀に関する国際集会が開催されてきている。2015 年の INQUA 名古屋大会以来、日本において国際集会が開催されていないこともあり、ASQUA 日本開催に向けて前向きに検討することになった。

（３）INQUA の動向情報共有

コミッションの HABCOM の報告が出穂委員からあり、委員長が代わりに報告を行った。第四紀の層序に関しては国際地質科学連合の国際層序委員会第四紀層序小委員会に上部更新統の作業部会が設置され、日本から委員が 1 名参加していることが委員長から報告があった。

（４）その他

・前回以降の INQUA の動向

齋藤委員長から前回以降の取り組みとして、日本学術会議から依頼のあった加入国際学術団体に関する調査票を昨年 11 月に提出し、追加質問に対して今年 5 月に回答したこと、そして 6 月に加入学術団体として承認されたことが報告された。また 7 月 12 日に開催された日本学術会議学術フォーラム「急激に変わりゆく地球環境と国際情勢」において委員長が INQUA の活動を発表したことが報告された。